

長崎県壱岐病院ホームページ再構築業務仕様書

第1章 業務の概要

1. 業務名

長崎県壱岐病院ホームページ再構築業務（以下「本業務」という。）

2. 業務目的

スマートフォン等の普及により、誰もが容易にインターネットを利用できる環境が整うとともに、患者さん・医療関係者が当院の施設設備や診療の情報を取得する総合窓口として病院ホームページの重要性は年々高まっている。

また、必要な情報を伝えることと併せて、病院の基本方針である急性期医療の充実、壱岐島内における地域医療連携など、高度で先進的な治療を行うだけでなく、壱岐島内の中核病院としての機能を果たしていることを地域住民や求職者に伝えるプロモーションの効果も求められるようになっており、病院が持つ特色を効果的に伝えることが重要である。

本業務は、患者さん・医療関係者・求職者が情報を入手する手段として、必要な情報を容易に得られるとともに、当病院のイメージの向上につながるホームページにリニューアルすることを目的としている。

3. 基本事項

当院が指定するホームページの基本事項については次のとおりとする。

(1) 誰でも見やすく・使いやすい

患者、医療関係者、就職希望者、病院職員の視点を考慮した使いやすいホームページであること。

- ① 探している情報に容易にたどり着くことが出来る見やすく使いやすいサイト構成・デザイン
- ② スマートフォンやタブレット端末等を含めたあらゆるデバイスに応じて、ホームページが最適化される。特に、スマートフォンからの視点を重視。
「レスポンシブデザイン」、「モバイルファースト」

(2) 病院イメージが適切に伝わるデザイン

長崎県壱岐病院の「安心安全であたたかな医療の提供」をはじめとする基本理念、5つの基本方針である救急医療の充実、地域連携、研修や教育の環境整備、療養環境の整備、予防医療推進の実践等、長崎県壱岐病院の魅力や特色を伝えられ、魅力や特色を患者さん・医療関係者・求職者毎に発信できるコンテンツデザイン、レイアウト

(3) 情報発信力の強化

SNSなどの採用による必要な情報を素早く正しく的確に届けられるサイト

(4) 編集しやすいサイト

専門知識のない職員でもページを容易に作成、掲載できるなど、均一な完成度となるサイト

(5) 安全で安定したサイト

コンテンツの改ざんやデータの漏洩といったセキュリティリスクに対応し、災害等に耐えうるサイト

(6) 構築についての詳細要求は別途この仕様書内で示すものとし、この仕様書に定めのない事項については、都度、受注者と発注者において協議の上決定する。

4. 業務の範囲

本業務では、CMS（「Contents Management System：コンテンツ・マネジメント・システム」の略であり、当院において、プログラミング等に関する専門知識がない職員でも、Webページの更新・追加が可能となる機能を指す。以下「CMS」という。）の導入、構築、サイト構成の検討やデザイン作成、職員の操作研修、総合的な支援といったシステム更新にかかる全般的な作業を行う。

また、ホームページリニューアル公開後の継続的な保守や運用支援についての提案も行うこと。

(1) 本業務の対象は、下記 URL 配下に含まれるホームページとする。

<http://iki-hospital.jp/>

(2) CMSの導入およびサービスの提供

(3) ページテンプレートの設計・制作

(4) カテゴリ分類、サイト構成コンテンツ設計

(5) 新規の作成（受託者の提案による）

(6) ホームページに掲載する記事作成・写真撮影

(7) 各種マニュアル、各種ガイドライン等の作成及び操作研修

(8) 現行サイトから新サイトへのデータ移行（デザインは新規作成する）

(9) 保守・運用支援（保証期間終了後の保守・運用については別途契約）

5. 契約期間・スケジュール

(1) 契約期間

契約締結日から令和6年3月31日まで

(2) 新サイト公開

令和6年3月31日までの公開を予定する。

(3) 構築スケジュール

詳細は、発注者と受託者が別途協議し決定する。ただし、公開予定日に合わせたスケジュール管理を行うこと。

第2章 システム動作環境要件

以下の各要件に関して、金額も含めてバランスの取れた企画を提案すること。求める要件は次のとおりであるが、これを超えるより良い提案がある場合は、提案すること。

1. ソフトウェアに関する要件

(1) ソフトウェアの環境は提案にゆだねるが、具体的な性能や構成、保守内容や体制等を企画提案書にて具体的に示すこと。

(2) 稼働に必要な全てのソフトウェアのインストールと初期設定を行うこと。

2. セキュリティ対策に関する要件

(1) ソフトウェアは、セキュリティホール等に対する最新の対策を行ったうえで導入し、情報漏洩対策を十分取ること。

(2) 異常または障害が発見された際には、直ちに当院へ連絡し、復旧手段について万全を期す体制及び運用が可能であること。また、障害発生時には原因を調査の上、報告書を提出すること。

(3) 外部からのセキュリティリスクへの対策を企画提案書に具体的に示すこと。

3. CMSの稼働に関する要件

ホームページとCMSが別に稼働する場合は、CMS側も可能な限り24時間365日の稼働が望ましい。ただし、何らかの原因によりサービスが停止する場合には、事前周知をするなどの対応をとること。

4. サーバの提案

受託者は、提案するCMSおよびホームページが動作するサーバー及びホスティングサービス等を提案すること。機密性、完全性、可用性に配慮し、経済性にも優れるサービスであり、下記条件を考慮すること。

※サーバーにかかる費用について、保証期間にかかる部分は見積提案書（提案様式4）の金額に含めるものとする。また保証期間終了後の期間にかかる当該費用についても保守

費用に含めるものとし、参考として（提案様式5）運用に係る保守費用見積提案書の内訳欄に別途記載すること。

- (1) 現在利用しているサーバは、共用レンタルサーバーであり次の通りである。
業者名：エックスサーバー株式会社
- (2) サーバは国内に設置されていること。
- (3) 独自ドメインでホームページを公開できること。
- (4) サーバ証明書の設置ができること。
- (5) 1日1回以上の自動バックアップができること。
- (6) Web改ざん検知機能を備えること。
- (7) WAF機能を備えること。
- (8) サーバログ型アクセス解析ツールを備えること。
- (9) CMS及びホームページデータを保管するストレージ領域は、5年間以上に渡り十分な容量を備えること。
- (10) 複数の管理者を設定できること。
- (11) 共有サーバ、専用サーバは問わない。
- (12) 格納するホームページは当該ホームページのみとする。
- (13) 現在のサーバで、実現している以下の機能もデータ移行も含め、継続して利用できること。
 - ・メールサーバ

5. その他の要件

- (1) データバックアップやアクセス解析等、必要と思われる保守要件を可能な限り、企画提案書に具体的に示すこと。
- (2) 外字は使用しないこと。また、想定されるアクセス環境（デバイス、ブラウザ等）で、文字コードに起因する文字化けを起こさないこと。

第3章 構築に関する基本要件

1. 開発要件

開発されたシステムが業務で使用できるかどうかを検証するため、本番環境下で総合試験を実施すること。なお、内容等については当院と協議の上決定する。

2. システムの機能要件

(1) 機能要件

CMSを導入し、ホームページのコンテンツの新規作成、修正、削除の全てが可能であ

ること。

(2) CMS導入・設定

- ① 受託者が契約するサーバへCMSをインストールすること。CMSの設定と併せてサーバ側に必要となる設定は受託者にて行うこと。
- ② CMSのユーザ情報、カテゴリ情報等について、受託者にてCMSへ初期設定を行うこと。なお、初期設定にあたっては、当院と協議のうえ決定したものを登録すること。
- ③ CMSを稼働させるために必要な設定、手順などを記したマニュアルを提出すること。また、CMSのシステム動作テストを実施し、その結果を提出すること。

(3) コンサルティング

最終的なサイト構成、コンテンツファイル名、タイトル名、担当等の一覧情報は当院にて決定するが、デザインやサイト構成、不足していると思われるコンテンツ等について、当院に最適と思われるコンサルティングを行うこと。

- ① 現行サイトの問題点や改善点を分析し、リニューアルの目的や方針を踏まえて、新たなコンテンツや機能の追加を企画し、提案すること。
- ② 既存データの移行に関するコンサルティングを行うこと。
- ③ ホームページ運用に関するコンサルティングを行うこと。
- ④ 新サイトへの移行後、旧サイトへアクセスしたユーザのリダイレクトおよび検索エンジンからの検索結果への影響を最小限に抑えるための提案を行うこと。

(4) サイト設計

現行サイトの分析を行い、リニューアルの目的や方針等を勘案したうえで、利用者にとっての利便性を最優先とするサイト設計を行うこと。

- ① 現行サイトの分析から、新サイトの全体構成、メニュー構成を検討し、協議を行い決定すること。
- ② 目的とするコンテンツに、原則3クリック、最大5クリック程度でたどりつく階層構造とすること。
- ③ トップページやメニューページ、末端ページから複数の導線でアクセスできるように配慮して設計すること。
- ④ レスポンシブデザインとし、単一のファイル作成でパソコン、スマートフォンやタブレット端末等異なるデバイスに対して表示内容が最適な状態に変化すること。
- ⑤ 閲覧者が使用するブラウザは以下のものを想定しており、これらのブラウザにてレイアウトが崩れないように作成すること。なお、バージョンは企画提案時点での最新版での正常動作を保証すること。

〈パソコン向け〉

・Microsoft Edge・Firefox・Google Chrome・Safari

〈スマートフォン・タブレット向け〉

・ iPhone/iPad 及び Android の標準ブラウザ

(5) デザインの作成

現行ホームページの課題やリニューアルの目的等を勘案し、トップページのデザイン案を作成し、協議の上、最終デザインを作成すること。また、中ページ・詳細ページのデザインも作成し、統一感のあるデザインにすること。

① トップページ

(a) 当院の特徴が伝わるデザインとすること。アクセシビリティ、ユーザビリティに配慮するとともに、操作性の向上やデザインの容易な変更が可能となること。

(b) 写真、動画やアイコンを効果的に配置し、わかりやすいナビゲーションとすること。

(c) 軽微なデザインの追加・修正変更はあらかじめ委託費用に含め、保証期間中は保守の中で対応すること。

② 基本デザイン

前項にて決定したトップページにあわせた本文用のテンプレート、ライブラリ、スタイルデザインを作成すること。

(a) サイト共通部分のデザイン修正が、全体に反映することができること。

(b) 必要なテンプレートは新規作成すること。

(c) 管理者による変更や新規作成追加が可能であること。

(d) ページには、グローバルナビゲーションのほか、ローカルナビゲーションやサブサイトリンクバナーなど、下層ページからアクセスしても周知したいものが広報できるような配置を行うこと。

(e) ページ印刷時に文字や画像が切れる等の不具合が無いようにすること。

③ 検索エンジン対策

キーワード、ディスクリプションの設定等、一般的な検索エンジン対策を行うこと。

(6) サイト内検索

利用者が最短で目的の情報にたどりつくことができるよう、サイト内検索機能を実装すること。

① 利用者がフリーワードで検索ができること。

② CMSの機能でなく、フリーの検索エンジンの使用も可とするが、広告表示等の不要な情報が出るもの、テンプレート内に表示できないものは不可とする。

③ 検索窓の下部に、おすすめやよく見られているワードなどが表示できるようにする

ことが望ましい。

(7) 拡張性と柔軟性

今後の利用者ニーズの変化や病院概要の更新、情報インフラの高度化に備え、システムのバージョンアップによる機能向上やサイト構成の変更に柔軟に対応できることが望ましい。

第4章 データ移行に関する要件

1. 移行対象

移行対象は第2章4.(13)で示したデータ、及び現行サイト最大70ページを想定。

なお、実際に移行するコンテンツについては当院と協議のうえ決定するものとする。

2. 移行の基本条件

コンテンツ移行が必要なページについては、最適な移行方法を提案すること。

(1) 移行設計

スケジュール、移行方法、当院及び受託者の役割、完了時の検証方法等、コンテンツ移行計画書を作成すること。

(2) 移行管理表の作成

作業を確実かつ円滑に行うために、ページ単位で移行指示が記された移行管理表を作成すること。

(3) 移行の実施

コンテンツの移行は、前述の「移行管理表」に基づき移行すること。ただし、コンテンツを移行する場合も、画像については新たに撮影したものを使用すること。

3. 移行後の検証

(1) 移行作業後のページは第3章2.(4)サイト設計で示す各ブラウザで適切に表示されるか確認すること。

(2) 当院の検証において瑕疵が発覚した場合は、受託者にて修正対応を行うこと。

第5章 職員支援に関する要件

1. 操作マニュアルの作成

各マニュアルはCMSパッケージに標準で付属するものではなく、当院における運用の事情や要望を反映して作成し、当院の業務内容と実施手順に沿って一連の操作方法を解説すること。

(1) 作成者・承認者・管理者向けマニュアルをそれぞれ作成すること。

(2) イラストや画像を活用し、分かりやすく解説すること。

(3) 業務に不慣れな職員でも理解できるよう、平易な用語を用いること。

2. 操作研修の実施

職員が本業務に理解を深めるとともにシステムへの習熟を深めることができるよう、実際にCMSを操作しながら研修を行う内容とすること。次の役割別に各30分程度の動画コンテンツを納品すること。

- (1) 作成者向け研修会
- (2) 承認者向け研修会
- (3) 管理者向け研修会

3. テスト環境整備

操作研修及びホームページ確認作業のために、本番環境とは別に非公開のURLでテスト環境を準備すること。

第6章 運用・保守に関する要件

新ホームページ運用開始から次年度末までの間は以下の保守内容に沿い、保証期間として運用支援を行うこと。それ以降については、別途保守業務の締結を協議するものとする。

(1) 運用・保守要件

- ① システムの安定的運用を図るため、ソフトウェアに関して定期的な保守を行うこと。
- ② システム及びシステムの稼働に伴い継続的に必要となるソフトウェア製品のライセンス提供（保守費用も含む）、管理を行うこと。
- ③ 使用するすべてのソフトウェアのバージョンアップに関しては、その適用の判断に必要な調査・評価を行い、当院と協議の上、提供及び適用作業を行うこと。
- ④ ソフトウェアやコンテンツ等に脆弱性が発見された場合は、パッチを適用する等のセキュリティ対策を行うこと。
- ⑤ CMSソフトウェアの不具合対応やセキュリティ対策を目的とした修正パッチ適用を実施すること。なお、実施の際には、類似環境による適用テストを行ったうえで本番環境へ適用すること。
- ⑥ 当院が必要と判断した場合もセキュリティパッチ等の適用を行うこと。
- ⑦ 利用するサーバーの契約および管理を行うこと。
- ⑧ 新ホームページの公開後、当院からページの追加・修正依頼があった場合には保守の範囲内で可能な限り対応すること。
- ⑨ 第5章の1、2にかかる当院からの問い合わせ等について対応すること。
- ⑩ その他、記載のないもので、構築業務や今後の安定的な運用に必要と認められる業

務については、随時当院と協議の上実施すること。

(2) 障害対応

- ① 障害への対応については、当院と調整を行い、システムをはじめとする各種ソフトウェアの復旧対応及びデータの復旧作業を行うこと。
- ② 障害事後対策として、収集した障害情報をもとに原因を分析し、同様の障害が発生しないように是正措置・予防措置を講じること。
- ③ 不正侵入の兆候を検知した場合、ただちに当院に報告し適切な対応を行うこと。
- ④ 当院からの障害連絡を受けられるように連絡体制を整備すること。
- ⑤ 当院で大災害が発生する等でCMS上での操作が出来なくなった場合には、当院からの電話等での指示で災害用ページの切り替えや、必要なページの作成・更新作業等を行うなど、緊急時に必要な支援を行うこと。

(3) 運用支援

アクセス解析等、技術的保守に限定しない運用支援を行うこと。

- ① 2月に1回アクセス解析を行い、カテゴリ分類等における問題点を明らかにし、修正の提案及びサポートを行うこと。解析を実施する時期については協議の上決定する。
- ② 検索キーワードを集計し、その結果をもとにカテゴリ分類の見直しなどについて具体的に提案すること。また、上位の検索キーワードについては実際に検索した場合に十分な結果が得られるかの検証を行い、不十分な場合は必要な情報が上位となるよう対応すること。

第7章 検査

1. 成果物の検査

(1) 業務完了時に以下の成果物を電子データ及び印刷物（各2部）で納品すること。

- ① サイト設計書、サイトマップ
- ② 操作マニュアル/運用ガイドライン
- ③ 作成者・承認者向けマニュアル、管理者向けマニュアル
- ④ 公開時のバックアップデータ
- ⑤ その他当院が必要とした書類

(a) 業務完了報告書（発注者の指定の様式による）

(2) 前項の成果物及び業務完了報告書を発注者が受理した時には、受理した日から起算して7日以内に受注者と発注者の立ち合いのもと検査を行うものとする。

検査に合格しないときには、発注者の指示のもと修正をし、再度の検査を受けること。

第8章 その他留意事項

1. 機密保護

当院が個人情報・秘密と指定した事項及び業務の履行に際し、知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。また、契約終了後も同様とする。

2. プロジェクト管理

仕様の確認等を行うため、本業務の履行期間内は原則として1か月ごとに打合せを行い、実施後速やかに協議内容の記録を提出すること。また、業務の進捗報告を月に2回以上行うこと。

3. 権利の帰属

ホームページ作成に関する一切の著作権は当院に属するものとする。ただし、オペレーティングシステム・ミドルウェア・CMS等のパッケージは含まない。

4. その他

本仕様書の内容及び、記載のない事項について疑義が生じた場合は速やかに発注者に確認し、協議の場を設けること。業務が円滑に遂行できるよう発注者とコミュニケーションを密にし、よりよい成果が得られるよう努力すること。